

火災統計



1. 火災概況

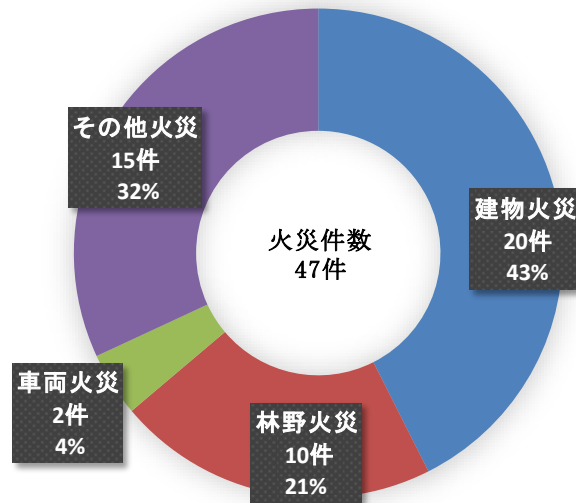
火災件数	47件
損害額	102,603千円
死者	0人
負傷者	2人
り災世帯	17世帯

区 分		平成28年	平成27年	平成26年	
火災件数	合計	47	50	56	
	建物	建物合計	20	22	30
		全焼	11	12	17
		半焼	1		3
		部分焼	5	4	4
		ぼや	3	6	6
	林野	10	7	6	
	車両	2	4	2	
	その他	15	17	18	
	焼合	40	28	61	
棟数	住家	全焼	6	5	13
		半焼	1		2
		部分焼	7	6	6
		ぼや	3	2	3
	非住家	全焼	11	8	20
		半焼	2	1	6
		部分焼	7	4	4
		ぼや	3	2	7
焼損面積	建物	床面積 (㎡)	1,850	2,107	4,318
		表面積 (㎡)	375	29	122
	林野(a)	83	1,294	107	
	車両(台)	3	6	14	
	その他(㎡)	34,078	8,178	13,542	
り災世帯数	合計	17	13	24	
	全損	7	5	14	
	半損			2	
り災人員	40	43	67		
死者		2	3		
負傷者	2	3	10		
30日死者		2			
損害額 (千円)	合計	102,603	62,800	170,149	
	建物	99,234	46,665	161,150	
	林野	416	9,229	694	
	車両	2,127	1,808	6,499	
	爆発		4,127		
その他	826	971	1,806		

2. 火災の分類

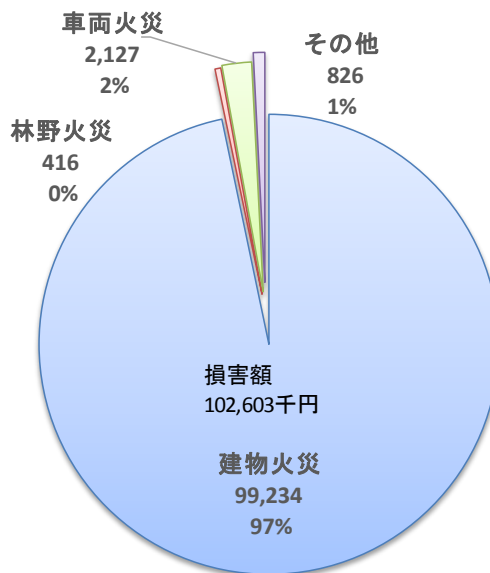
火災種別ごと件数

平成28年中

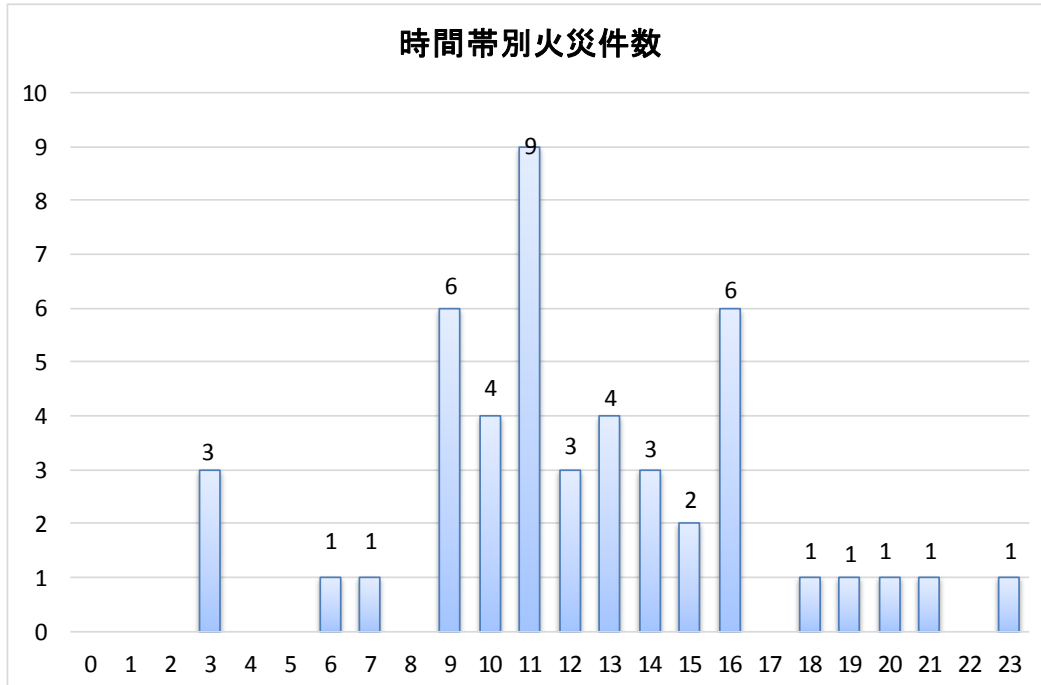
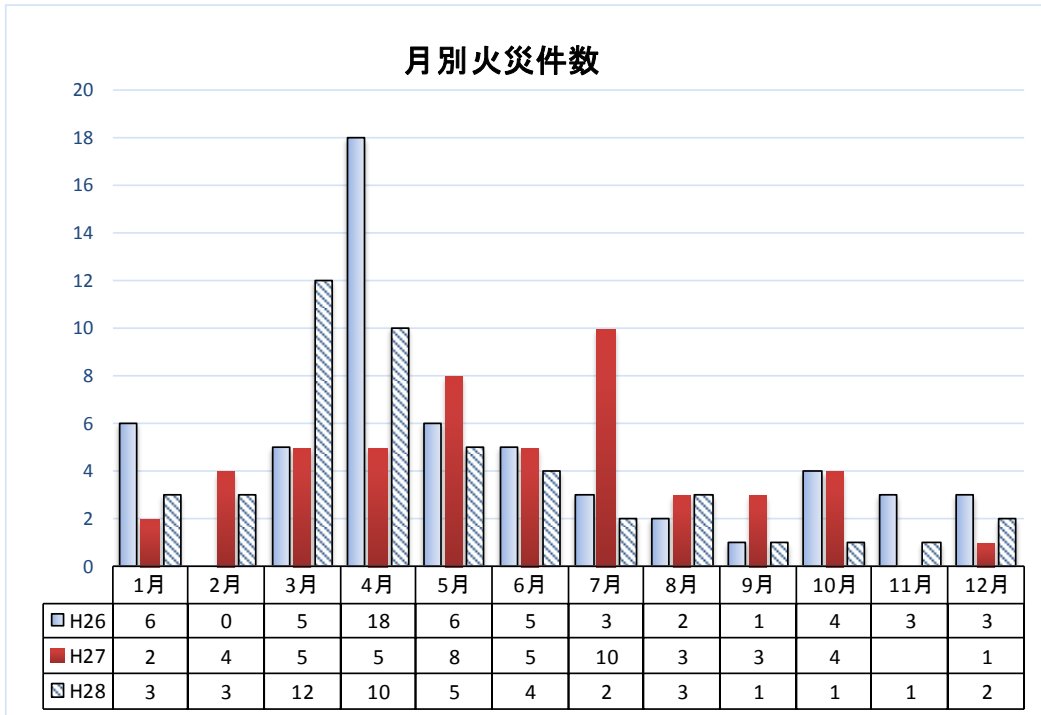


火災種別ごとの損害額

平成28年中



3. 月別、時間帯別火災件数



4. 火災被害状況

(平成28年中)

区分	火災件数		損害額				焼損面積 (建物)				
	総件数	出火率 (人口一万人当たり)	総額 (千円)	一件当り (千円)	住民一人当り (円)	一世帯当り (円)	総面積 (㎡)		一件当り (㎡)		
							床面積	表面積	床面積	表面積	
合計	47	4.83	102,603	2,183	1,053	2,784	1,850	375	84.1	17.0	
月別	1月	3	0.31	296	99	3	8			0.0	0.0
	2月	3	0.31	51,054	17,018	524	1,385	410	13	205.0	6.5
	3月	12	1.23	797	66	8	22	78	16	7.2	5.3
	4月	10	1.03	9,049	905	93	246	294	12	73.5	3.0
	5月	5	0.51	1,311	262	13	36	96	82	48.0	41.0
	6月	4	0.41	15,268	3,817	157	414	225	152	225.0	152.0
	7月	2	0.21	6,346	3,173	65	172	195	97	195.0	97.0
	8月	3	0.31	4	1	0	0				
	9月	1	0.10	17	17	0	0		3	0.0	3.0
	10月	1	0.10	7,348	7,348	75	199	393		393.0	0.0
	11月	1	0.10	52	52			3		3.0	
	12月	2	0.21	11,061	5,531	114	300	156		78.0	0.0
署所別	中央消防署	29	4.20	90,884	3,134	1,318	3,385	1,267	282	97.5	21.7
	東和分署	9	10.27	2,566	285	293	847	6	4	3.0	2.0
	北消防署	8	5.56	9,153	1,144	636	1,800	577	89	115.4	17.8
	大迫分署	1	1.90		0	0	0			0.0	0.0
26年	56	5.57	170,149	3,038	1,692	4,710	4,318	122	77.1	2.2	
27年	50	5.08	62,800	1,256	639	1,713	2,107	29	95.8	1.3	

5. 曜日別、覚知別火災状況

(平成28年中)

区分	火災件数	覚知別							火災種別ごと損害額 (千円)						
		火災専用電話(加入)	火災専用電話(携帯加入)	一般加入	一般加入(携帯)	駆け付け	事後通知	その他	合計	建物	林野	車両	航空機	その他	爆発
合計	47	15	21	1	0		3	7	102,603	99,234	416	2,127		826	0
日	5	2	2				1		19,058	18,689	343			26	
月	10	5	3				1	1	503	54				449	
火	6	2	4						2,462	344		2,117		1	
水	6		3	1			1	1	22,071	21,922	73			76	
木	5	3						2	42,341	42,326				15	
金	7	1	5					1	1,323	1,135		10		178	
土	8	2	4					2	14,845	14,764				81	
不明															

6. 覚知別火災件数、被害状況

(平成28年中)

区分	合計	火災専用電話(固定)	火災専用電話(携帯)	一般加入電話(固定)	一般加入電話(携帯)	駆け付け通報	事後通知	その他
火災件数 %	47 100%	15 32%	21 45%	1 2%			3 6%	7 15%
損害額 (千円)	102,603	55,754	23,797	111			297	22,644
(1件当損害額)	2,183	3,717	1,133	111			99	3,235

7. 月別、署所別火災状況

区分	出火件数										焼損棟数								
	計	建物火災				林野火災	車両火災	航空機火災	その他の火災	計	住家				非住家				
		全焼	半焼	部分焼	ぼや						全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	
合計	47	20	11	1	5	3	10	2		15	40	6	1	7	3	11	2	7	3
1月	3	1				1		1		1	1				1				
2月	3	2	2							1	9	1	1			4	1	1	1
3月	12	3		1	2		3			6	4			1			1	2	
4月	10	4	3			1	4	1		1	7	1			1	3		2	
5月	5	2	2							3	4			1	1	2			
6月	4	1	1				1			2	4	1		2					1
7月	2	1	1				1				3	1		2					
8月	3	1				1	1			1	1								1
9月	1	1			1						1							1	
10月	1	1	1								3	1				2			
11月	1	1			1						1			1					
12月	2	2	1		1						2	1						1	
中央消防署	29	13	6		5	2	5			11	26	5	1	6	1	4	1	5	3
東分署	9	2	1			1	4	1		2	3				1	1		1	
北分署	8	5	4	1			1	1		1	11	1		1	1	6	1	1	
大分分署	1									1									

(平成28年中)

焼損面積・数		り災世帯数				計	全 損	半 損	小 損	災 人 員	死 者	負 傷 者	30 日 死 者	火災種別ごとの損害額（千円）					
建 物 (㎡)	床 面 積	林 野 (a)	車 両 (台)	航 空 機 (機)	そ の 他 (㎡)									建 物	林 野	車 輛	航 空 機	そ の 他	爆 発
1,850	375	83	3		34,078	17	7	10	40		2		102,603	99,234	416	2,127	826		
			1			1		1	1				296	8		255	33		
410	13		1			2	2		5				51,054	51,013				41	
78	16	11			22,806	1		1	2				797	327	4			466	
294	12	57	1		1,196	2	1	1	6		1		9,049	6,734	412	1,862		41	
96	82				7,867	2		2	5		1		1,311	1,087		10		214	
225	152	1			1,572	3	1	2	10				15,268	15,238				30	
195	97	13			63	3	1	2	6				6,346	6,345				1	
		1			545								4	4					
	3												17	17					
393					29	1	1		1				7,348	7,348					
3						1		1	2				52	52					
156						1	1		2				11,061	11,061					
1,267	282	35	1		32,203	13	6	7	32		1		90,884	90,375				509	
6	4	47	1		957	1		1	2				2,566	80	416	1,862		208	
577	89	1	1		656	3	1	2	6		1		9,153	8,779		265		109	
					262														

8. 用途別火災状況

区 分	件 数	焼 損 棟 数								焼 損 面 積 ・ 数							
		住 家				非 住 家				建 物 (㎡)		林 野 (a)	車 両 (台)	航 空 機 (機)	そ の 他 (㎡)		
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	床 面 積	表 面 積						
合 計	47	40	6	1	7	3	11	2	7	3	1,850	375	83	3		34,078	
小 計	20	40	6	1	7	3	11	2	7	3	1,850	375		1		728	
建 物 火 災	住 宅	7	15	6		4	1	2		1	1	1,499	257		1	29	
	物置・納屋	5	8			1	1	4		2		106	89			247	
	共同住宅	2	2			2						3	5				
	小 屋	2	10		1			4	2	2	1	222	20			390	
	住宅兼車庫	1	1				1										
	美容院	1	1							1							
	歯科技工士室	1	1							1		14					
	便 所	1	2					1		1		6	4			62	
小 計	27												83	2		33,350	
林 野 火 災	10												83			805	
車 両 火 災	2													2			
航 空 機 火 災																	
そ の 他 の 火 災	15															32,545	

(平成28年中)

り災世帯数			り 災 人 員	死 者	負 傷 者	30 日 死 者	損 害 額 内 訳 (千円)								
計	全 損	半 損					小 損	計	建 物		林 野	車 両	航 空 機	そ の 他	爆 発
									建 物	収 容 物					
17	7		10	40		2	102,603	86,634	12,600	416	2,127		826		
17	7		10	40		1	99,387	86,634	12,600		10		143		
11	6		5	27			60,013	49,811	10,174				28		
2			2	5		1	1,252	1,123	43		10		76		
2			2	4			89	75	14						
	1			2			35,260	33,972	1,288						
			1	2											
							4	4							
							2,650	1,569	1,081						
							119	80					39		
						1	3,216			416	2,117		683		
							416			416					
							2,117				2,117				
						1	683						683		

9. 原因別火災状況

(平成28年中)

区 分	合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	焼 損 面 積 ・ 数					損 害 額 (千円)	
														建 物 (㎡)		林 野 (a)	車 両 (台)	航 空 機 (機)		そ の 他 (㎡)
														床 面 積	表 面 積					
合 計	47	3	3	12	10	5	4	2	3	1	1		2	1,850	375	83	3		34,078	102,603
草焼き たき火	23			9	6	3	2	1	2					98	11	82			25,652	1,372
火のついた 紙、ゴミ	4			2	1		1							278	8	1			1,010	6,597
ストーブ	2										1		1	535					29	15,759
たばこ	2					1							1	14					7,325	2,789
取灰	2		1		1									150	17				62	35,093
ガステーブル	2			1								1		3	5					89
コンセント	2	1								1					3					25
蓄電池	1	1															1			255
燻炭	1	1																		33
練炭	1		1																	15
放火、放火 疑い	1				1															
排気管	1				1												1			1,862
スパーク放電	1									1										4
放火、火遊び 以外の火付け	1							1						195	97					6,346
不明	3		1			1	1							577	234		1			32,364

10. 建物火災出火箇所別火災件数

(平成28年中)

出火箇所	件数	出火箇所	件数
小屋・置場等	5	仏間	1
居室	2	天井裏	1
建物外周部	2	煙突貫通部	1
台所	2	作業室	1
洗面所	1	その他	4

11. 1日及び1件あたり火災状況

(平成28年中)

区分		1日当たり	1件当たり
火災件数		0.13 件	
焼損棟数		0.11 棟	0.85 棟
建物焼損床面積		5.07 m ²	39.36 m ²
り災世帯数		0.05 世帯	0.36 世帯
り災人員		0.11 人	0.85 人
損害額	建物火災	272 千円	4,969 千円
	全火災	172 千円	1,336 千円

12. 過去の大火記録

花巻市

年 月 日	災 概 要
延宝 4 年 5 月 27 日 (1676 年)	豊沢町より出火、小屋 1 つを残し豊沢町の建物焼失
享保 6 年 3 月 29 日 (1721 年)	里川口町横町から出火、南東の風により大火になり 256 戸焼失のほか侍屋敷の一部焼失
享保 11 年 6 月 10 日 (1726 年)	里川口町から出火 48 戸焼失
明和 5 年 12 月 21 日 (1768 年)	豊沢小路長屋より出火、西小路大工町、横町、上南小路、北小路下町におよび 330 戸焼失
天明 2 年 5 月 27 日 (1782 年)	里川口町、裏町日野や長屋より出火、折からの烈風により、裏町、横町 140 戸焼失
天明 8 年 12 月 23 日 (1788 年)	里川口町横町、下小路から出火、同町、上町、大町 78 戸焼失
嘉永 5 年 1 月 7 日 (1852 年)	7 日夜から 8 日朝にかけ、川口町、下町、南小路にかけ 87 戸焼失
安政 6 年 3 月 (1859 年)	鍛冶町安浄寺より出火 150 戸焼失
明治 3 年 4 月 15 日 (1870 年)	鍛冶町から吹張御組まで 300 戸焼失
明治 5 年 3 月 (1872 年)	里川口町で大火、り災戸数 54 戸
明治 40 年 3 月 10 日 (1907 年)	12 時 20 分、川口町佐藤由蔵借家から出火、西風烈風により 24 戸 70 棟焼失
昭和 13 年 12 月 27 日 (1938 年)	19 時頃湯口村鉛温泉藤三旅館から出火、同館のほか菊徳、藤友、安浄寺の 3 旅館と売店等 14 棟焼失
昭和 20 年 4 月 16 日 (1945 年)	御田屋町花巻厚生病院から出火、病院本館全焼、強風により長久寺、円城寺全焼、里川口に延焼。さらに飛火して矢沢村高木小路 4 棟、堰袋民家 7 棟、槻の木民家 5 棟、白山神社、観音堂と矢沢 1 棟を焼失
昭和 20 年 8 月 10 日 (1945 年)	10 時 30 分、第 2 次世界大戦、戦災爆撃により花巻駅地域大部分倒壊全滅、上町、大工町、豊沢町、下町、裏町 673 戸焼失
昭和 23 年 4 月 14 日 (1948 年)	15 時 50 分頃、矢沢村高木小路高木不動寺付近から出火、風速 10m 以上の強風により 56 戸焼失、り災世帯 87 世帯、り災人員 374 名
昭和 24 年 2 月 18 日 (1949 年)	3 時 50 分、湯本村台温泉火災、巾員 1.82m せまい道路と両面が溪谷地形の消防活動悪条件の中に木造建築物が密集し通路が煙道となって延焼、温泉旅館、自炊館 7 棟を含む 25 棟焼失
昭和 34 年 2 月 23 日 (1959 年)	14 時 00 分頃、松園町の住家から出火、北の風最大風速 13m の強風により引揚者住宅、市立母子寮、市立保育園、公衆浴場等 12 棟焼失、り災人員 63 名
昭和 42 年 4 月 13 日 (1967 年)	21 時 10 分、双葉町成島陶器店より出火、木造建物密集により店舗、自動車修理工場、住宅、アパート等 4 棟全焼、3 棟半焼、り災世帯 15 世帯、り災人員 42 名
平成 12 年 3 月 17 日 (2000 年)	1 時 00 分頃、大通り清水仏具店より出火、折からの強風により、仏具店、写真館、旅館等 4 棟全焼、3 棟部分焼、約 1 億 4 千万円の損害
平成 26 年 4 月 7 日 (2014 年)	20 時 15 分頃、上町朝日屋より出火、店舗 1 棟全焼、店舗併用住宅 2 棟半焼、約 7 千 3 0 0 万円の損害

大 迫 町

年月日	り 災 概 要
享保11年 4月 (1726年)	中町、上町が残らず焼失
文政12年 12月 (1829年)	中町、上町、115棟が焼失
昭和54年 3月 4日 (1979年)	内川目地内住家より出火 6棟焼失

石 鳥 谷 町

年月日	り 災 概 要
昭和7年 4月 9日 (1932年)	石鳥谷小学校ならびに民家 20戸焼失
昭和23年 7月 24日 (1948年)	13時45分、石鳥谷町、横沢鍛冶工場から出火、花巻酒造KK、宝峰、七福神、稲の友工場、倉庫、住宅 44棟全焼 8棟半焼

東 和 町

年月日	り 災 概 要
正保4年 3月 (1647年)	土沢町の大火により延焼し、土沢館も焼失する。城の建物と民家 96戸焼失
延享5年 6月 1日 (1748年)	穴島町より出火 53棟焼失
宝暦6年 12月 16日 (1754年)	土沢町大火 43戸焼失
文化13年 3月 13日 (1816年)	土沢町大火 182戸焼失
天保3年 7月 10日 (1832年)	土沢町沖屋長平 _エ 前の家より出火、土沢町の家屋全焼
天保9年 3月 5日 (1838年)	土沢町より出火 73棟焼失
昭和31年 4月 23日 (1956年)	土沢地内住家より出火、住宅、小屋、山林等、14棟焼失 り 災人員 46名
昭和42年 11月 9日 (1967年)	東晴山地内、製材所、住宅等、17棟焼失

1 3. 特殊な火災及び災害等

発 生 年 月 日	概 要
昭和 62 年 2 月 26 日	<p>東北自動車道多重衝突事故</p> <p>2月26日6時50分頃高速道下り線478km地点（花巻市櫛の目7-35-3）で大型車、普通車41台による多重衝突事故</p> <p>人的被害 死傷者20名のうち死者1名、重傷2名</p> <p>気象状況 天候 雪、気温 -4℃、風向 西 湿度 98%、積雪 28cm（花巻消防署調べ）</p> <p>現場の道路状況は圧雪、気象は地吹雪</p> <p>出動車両 救急車3台、救助工作車1台、ポンプ車1台 指令車1台 計6台</p> <p>出動人員 20名</p>
平成 5 年 4 月 18 日	<p>花巻空港での航空機火災</p> <p>4月18日12時44分頃日本エアシステム機（DC9-41型機128人乗）が花巻空港で着陸に失敗炎上</p> <p>搭乗者 乗員5名、乗客72名、計77名 うち負傷者26名（花巻消防署調べ）</p> <p>被害状況 航空機1機焼損 損害額197,261千円</p> <p>事故当時の気象状況</p> <p>天候 晴、気温 12.5℃、湿度 36% 風向 西北西、平均風速 10.4m/s 最大瞬間風速 24.0m/s（花巻消防署調べ）</p> <p>出動車両 大型化学車1台、化学車1台、水槽付ポンプ車2台、 普通ポンプ車1台、水槽車1台、救急車2台、運搬車1台、 指令車1台、（花巻市消防団）17台、（石鳥谷町消防団）1台 計28台</p> <p>出動人員 消防職員29名、消防団員187名 計216名</p>

石鳥谷町・紫波町大規模林野火災概要

- | | | | |
|-----|----------|-------------------------------------|--------------------------------|
| (1) | 出火日時 | 平成9年5月2日(金) | 12時10分頃 |
| (2) | 出火場所 | 石鳥谷町大瀬川第1地割70番地6 | 私有林 |
| (3) | 覚知時間 | 平成9年5月2日 | 12時48分(加入電話覚知) |
| (4) | 鎮圧時間 | 平成9年5月3日 | 12時43分 |
| (5) | 鎮火時間 | 平成9年5月7日 | 16時00分 |
| (6) | 出火原因 | 不明 | |
| (7) | 気象状況 | 5月2日 | 13時 |
| | 天候 | 晴 | 気温 25.9℃、相対湿度 23.2%、実効湿度 59.5% |
| | 風向 | 南西 | 風速 8.0m 強風 乾燥注意報 発令中 |
| (8) | 被害の状況 | | |
| | ・人的被害 | 負傷者1名(消防団員消火活動中) | |
| | ・建物被害 | 非住家 焼損面積 0.45 m ² (神社の柱) | |
| | ・消防施設被害 | 軽可搬ポンプ1台、ホース3本焼損 | |
| | ・林業関係被害 | | |
| | ア 森林被害 | 焼損面積304.1ha 国有林73.1ha 私有林231.0ha | |
| | イ 森林施設被害 | 荒廢地5ヶ所 | |
| | ウ 林産物被害 | しいたけほだ木 15,000本 | |
| | ・土木施設被害 | 高速道路の法面焼損 1ヶ所 | |
| | ・電力関係被害 | 送電線及び電線2経間中の難着雪リング溶解破損 | |
| | ・損害額合計 | 1,047,364千円 | |
| (9) | 出動状況 | | |
| | ・出動人員 | 4,731人 | |
| | | 消防職員・消防団員・婦人消防協力隊 | 2,579人 |
| | | その他 | 2,152人 |
| | ・出動車両 | 534台 | |
| | | ポンプ車 | 102台 |
| | | 可搬式ポンプ | 96台 |
| | | その他 | 336台 |
| | ・航空機 | 24機 | |
| | | 県防災ヘリ | 8機 |
| | | 自衛隊ヘリ | 14機 |
| | | 県警ヘリ | 2機 |

※ 1 (3) 覚知時間は石鳥谷分署覚知、(4) 鎮圧時間は石鳥谷町発表、(5) 鎮火時間は

石鳥谷町、紫波町両町発表

2 (7) 気象状況資料は石鳥谷分署調べ(相対湿度、実効湿度は消防本部調べ)

3 (8) 被害の状況 (9) 出動状況については石鳥谷町、紫波町両町合計の数値

東日本大震災の記録

東北地方太平洋沖地震の概要

- (1) 発生日時 平成 23 年 3 月 11 日 (金) 14 時 46 分
- (2) 発生場所 牡鹿半島の東南東約 130km (三陸沖)、深さ約 24km を震源として発生
- (3) 地震規模 マグニチュード 9.0
- (4) 震 度 最大震度 7 (宮城県栗原市) 6 弱 (花巻市大迫町)

花巻市の被害 (平成 24 年 2 月 29 日付)

- (1) 人的被害 死亡者 2 名 (花巻市に住所を置く方が震災当日沿岸で被災)
重症者 3 名 (うち 4 月 7 日の余震によるもの 2 名)
軽傷者 17 名
- (2) 建物被害 (民間) 全壊 42 件 大規模半壊 26 件 半壊 79 件 一部損壊 861 件
- (3) 公共施設等被害 公共施設 135 件 公共土木施設 108 件、
水道施設の破損、漏水、故障等 124 件
下水道、農集排、浄化槽路面沈下等 25 件 農林施設 197 件
- (4) 農業被害 牛舎・米倉庫等 13 件

花巻市消防本部の対応

- (1) 災害対策本部設置 平成 23 年 3 月 11 日 14 時 48 分
廃止 平成 23 年 3 月 31 日
- (2) S C U の設営、運用 ※ S C U…StagingCareUnit (広域搬送拠点臨時医療施設)

活動概要

3 月 11 日の地震発生後、岩手県から S C U をいわて花巻空港に設置するため、当消防本部に指揮調整員、救急隊の派遣指示があり、いわて花巻空港内 S C U にて待機態勢をとった。

3 月 12 日、全国各地から参集した D M A T (災害派遣医療チーム) やドクターヘリ、防災ヘリ、自衛隊などの関係機関と連携し、空港内に被災地からヘリ搬送された傷病者を S C U へ収容し、搬送の順位や収容先を決定するため、再トリアージ及び必要な追加処置を実施する。決定された搬送順位にしたがって、救急車等で医療機関へ搬送、また自衛隊輸送機にて遠隔地の医療機関へ域外搬送となる。

3 月 16 日から S C U は岩手県消防学校に移設、同施設に隊員を派遣する。

3 月 19 日、S C U 解散となる。

S C U への派遣延べ人員 (3 月 11 日～19 日)

花巻市消防本部 延べ 30 隊 104 名

花巻市消防団 延べ 2 隊 57 名

SCU傷病者医療機関等搬送状況

	陸路搬送		空路搬送		合計
	花巻市消防本部	県内外応援隊	ドクターヘリ	域外搬送(C-1)	
3月11日	0	0	0	0	0
3月12日	52	15	0	4(新千歳)	71
3月13日	12	17	1	6(羽田)	36
3月14日	6	17	0	3(秋田)	26
3月15日	0	4	0	3(秋田)	7
3月16日	(1)	0	0	0	(1)
3月17日	(1)	0	0	0	(1)
3月18日	0	0	0	0	0
3月19日	0	0	0	0	0
合計	70(2)	53	1	16	140(2)

※注 1 空路搬送C-1とは、自衛隊中型輸送機のことである。

2 ()書の人数は、岩手県消防学校 SCU から花巻市消防本部が搬送した人員数である。

SCU搬送者傷病程度別状況

	軽症	中等症	重症	合計
3月11日	0	0	0	0
3月12日	31	36	4	71
3月13日	11	23	2	36
3月14日	11	12	3	26
3月15日	0	4	3	7
3月16日	0	(1)	0	(1)
3月17日	(1)	0	0	(1)
3月18日	0	0	0	0
3月19日	0	0	0	0
合計	53(1)	75(1)	12	140(2)

※注 ()書の人数は、岩手県消防学校 SCU から花巻市消防本部が搬送した人員数である。

(3) 消防相互応援隊の協定に基づく応援隊の派遣(救急隊)

派遣先 釜石大槌地区行政事務組合消防本部

派遣期間 平成23年3月25日(金)から平成23年5月1日(日)まで

出動件数 66件

派遣人員 延べ25隊75名

※当消防本部と北上地区消防組合及び遠野市消防本部の各救急隊から、常時2隊従事するようローテーションを編成し救急活動を行った。活動本拠地は津波被害のなかった釜石消防署小佐野出張所に置き、救急出動時には釜石消防職員1名が同乗(転院搬送を除く)し活動を行った。